

# JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2023 12

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2023年12月



富士山

## INDEX

2~4..... 第36回総会議案(第1次案)活動方針

5..... 11月の事故一報一覧

6・7..... 11月の労山基金交付認定一覧

8..... 全国連盟・部・局・専門委員会の活動

「今日の凱歌に足取り軽く」

静岡県東部岳人には、富士山は「大いなる山」。積雪が少ない地で絶対標高もさることながら、雪山訓練・雪山ハイク・山岳スキー・岩登り、など、遠方の山でなくとも雪山が楽しめる貴重な存在。私たちは、富士山に「育てられて」います。  
(後藤隆徳・長泉麗峰山の会/静岡)

## 日本勤労者山岳連盟第36回総会議案(第一次案) 各分野の活動方針

2024年2月17・18日に東京府中市で行われる総会では、各地方連盟の代議員が集い、2023年度の総括・決算と2024年度の方針と予算について討議し、全国連盟の役員を選出します。議案全文は各地方連盟へ発送しました。

### 1)組織強化拡大をめざす取り組み

①「平和と登山」集会を開催する。一昨年の「全登研集会」でも開催要求が出ている。又、この集会の中で国民平和大行進や核兵器廃絶と核兵器禁止条約への日本政府の署名・批准を求める声明も出している。「平和でなければ登山が出来ない」「平和と登山」を掲げる労山だからこそ、この集会を開催する意義は大きいと捉える。日時:6月上～中旬頃、場所:全国労山事務所。

②組織拡大の大きな推進力となっている登山教室・登山学校の運営に重点を置いた講座を開催する。日時:未定、場所:全国連盟事務所

③比較的若い層の(青年)交流登山集会を行う。組織にとって若い層の実態把握や、組織化は重要な事である。ここ何年も青年・学生委員会が苦戦している。委縮するのではなくまず、集まろう。そして仲間の良さを伝え、仲間である事の連帯を感じ合い、労山組織の青年層の発展の足掛かりとしていきたい。日時:未定、場所:未定。

④直接的に、間接的に労山組織の歴史・構成・趣意書・労山基金について等、労山の理念を語り、伝えていく取り組み。各地方連盟・会・クラブは後継者や役員不足が大きな課題の一つとなっている。また労山と他の登山団体との違いを正しく理解できずに脱退する会員も少なくない。組織を守り、育て発展させていくためには、正しく労山を理解する取り組みは欠かせない。労山基金においても、その一部が安全対策基金として活用されていること等を伝達していきたい。

⑤困難な地方連盟との懇談を持ち、積極的に支援していく。

⑥HP・リーフレット等の活用を図る取り組みを推進していく。

⑦2025年開催予定である「全国登山研究集会」の準備委員会を発足させる。

⑧部員の学習・研修を持つ。

### 2)遭難事故防止の活動と教育活動

①地方連盟の遭難対策活動を支援

気象・読図・運動生理学・緊急連絡体制他、講師派遣

を継続して充実させる。

②教育体制の充実

・「全国遭難対策担当者会議」の開催を東京で行い、転倒事故防止等の安全登山教育体制を強化する。

・中央登山学校「雪崩講習会」、「MFA講習会」を充実させ継続開催する。

③健康管理

・年代による心身の特性を知り健康状態の把握、健康づくりの必要性を啓発する。

・登山の運動生理学とトレーニング方法の啓発を行う。

④遭難対策に役立つ各種団体・会議・学会に継続して参加「日本山岳サーチ&レスキュー研究機構」、「全国山岳遭難対策協議会」、「日本雪氷学会」、「日本山岳文化学会」、「日本イカール委員会」、「山岳安全対策ネットワーク協議会」などに参加する。

⑤遭難事故の原因分析

労山内外の山岳遭難事故の情報を収集・分析して、その結果を普及・活用していく。

⑥クライマーの交流によるレベルアップ・安全意識向上支援、若手クライミング講習会の開催を継続し、登山技術についての交流会も検討する。

⑦各都道府県連盟登山学校担当者の交流・情報交換・地方連盟での登山学校運営の課題や安全対策について、現状を把握する。

⑧ココヘリ救助隊の編成組織による研修会を開催し救助活動のより円滑な体制を確認する。各地方での研修会を広げていきたい。

⑨遭難対策部会の研修会

各地で登攀や沢登りに関する墜落・転落・溺死等の事故が発生している。事故の検証と遭難対策部員の技術レベルアップを目的とした研修を開催する。沢登りの死亡事故が続いている。現場で事故検証を行い、その後の安全対策等を確認し事故防止に繋げていきたい。

⑩(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が取得した国際山岳連盟認定の上級夏山リーダー検定制度について、積極的に情報収集をしていく。

### 3)自然保護活動

2023年は世界中で森林火災が発生し、この20年で火災による森林の喪失は2倍に増えている。その背景にある大きな要因は気候変動による温暖化の影響により化石燃料の放出で加速している。地球温暖化は日本国内において寒冷地を好む高山植物やライチョウ・ナキウサギ等の生息地にサルやシカ等が押し上げて生殖を壊滅させる恐れがある。CO<sub>2</sub>を吸収する森林を大規模に伐採する巨大風力発電や太陽光発電の工事を中止させなければならない。

- ①「第51回全国一斉クリーンハイク・清掃登山」を5月26日及び6月2日に実施する。
- ②第26回全国自然保護講座を開催する。
- ③第22回全国自然保護集会を11月16日～17日に開催する。
- ④南アルプスの自然や環境を破壊する「リニア中央新幹線建設」に反対していく。
- ⑤古都・京都の山岳や環境を破壊する「北陸新幹線延伸計画」に反対していく。
- ⑥地方連盟と共同して山岳自然を破壊する大規模風力発電・メガソーラー発電計画に反対署名活動などを協力していく。
- ⑦ライチョウの保護の立場から登山者からの目撃情報を写真や動画で収集し実態把握につとめる。結果を研究機関や自治体関係機関に提供していく。
- ⑧「排泄物で山を汚染しない」ことを実践して、携帯トイレを携帯し活用を図るとともに使用紙の持ち帰りを徹底していく。トイレブースや回収ボックス設置について環境省や自治体に要請していく。
- ⑨山岳団体自然環境連絡会で各会の自然保護活動について情報交換をしていく。

#### 4)ハイキング委員会

- ①ハイキング委員会の広域化についてはほぼ確立し

たが、可能であれば九州ブロック、東北ブロックからの選出を期待したい。

②2024年度は「全国ハイキング交流集会」を10月5日(土)～6日(日)開催する。主管団体については模索中であるが、2年続けて西日本で関連集会を実施したので中部・東海地方連盟主管を念頭に進めていきたい。交流集会の内容については「コロナ禍を乗り越えて活動している」経験や「会員拡大で大きく前進している会・クラブ」の経験を前面にした交流集会としたい。

③昨年より課題となっている「ハイキングセカンドステップ」の改定作業を進める。改定内容としては「平和と登山」についての加筆、「スマホアプリ活用のハイキング」「気象情報の各種電子機器からの収集」などを追加したものを考えている。又、各項目で当然、登山技術や装備の進展で変化している内容については補筆する。

④他部局との協力・共同の活動。全国遭対部や「山筋ゴーゴー体操推進委員会」との意見交換・協力・共同の活動を進め、高齢化対策や登山前のトレーニング、下山後のケアなど会員から出ている要望に対して応えていく活動にも努力する。

⑤広域委員会は当面、月1回 ZOOM で開催する。対面での開催は半年に1回程度として、委員会予算を組む。

#### 5)メディア局

①ホームページ:ホームページはコンテンツの内容はPC画面对応となっているので、「スマホ対応」の画面を新規に作成する。また、トップページの画面を整理し、目的のコンテンツに早く到達できるように階層を浅くしてする。

②機関誌・紙編集委員会:2024年度も引き続き、機関紙「JWAF journal」の毎月発行、機関誌「登山時報」の季刊発行を円滑に行う。



・誌面の充実に向けては、地方連盟からの意見を取り入れて「全国連盟の行事・イベント」「地方連盟の行事・イベント」とバランスよく構成していく。さらに「魅力あり、興味のわく機関紙雑誌づくり」として、企画特集は山岳中の事故事例(山行中における事故補償)、労山基金の優位性、花特集、岩山特集、紅葉などの読者の関心が高いアルパイン層向けの記事とバランスをとった内容を組んでいく。

・機関紙のデジタル化での無償配布も軌道にのったことから、次は登山時報の個人購読数の増加に取り組む。

・機関誌・紙編集委員会の構成として現在の陣容に加え、地方連盟のメンバーを若干名追加して誌面の充実を図る。同じくホームページ委員会の確立を図り運営していく。

・発行費用について予算内での執行に努める。

## 6)女性と登山

女性会員を対象に「女性と登山」「女性委員会」についてのアンケートを行い、その結果をふまえて今後の活動を検討する。

## 7)国際部

7月に東京で開催予定のアジア山岳連盟創立30周年記念総会に参加し、運営に協力する。8月下旬にカザフスタンで国際交流トレッキングを行う。

## 8)海外委員会

①海外委員会を開催して毎月第2火曜日開催、JWAFジャーナルを委員内の輪番制、理事3名内の輪番制で原稿の作成ならびレジュメ作成・司会・議事録作成していく。

②ドロップボックス内海外委員会のサブフォルダ入力を委員全員が出来るようにする。2024年度海外登山計画書一覧(内訳:6,000m以上、6,000m未満、トレッキング、クライミング、山スキー)を委員全員で分担し、入力作成できるようにする。

③海外山行交流集会を11月の開催目標に向けて準備し、成功させる。

④委員会で選別して海外山行調査用紙を海外登山計画書提出者へメールで送付し、山行結果を確認できるようにして報告集を検討する。

⑤海外山行計画書提出状況を理事会へ総計件数ならび内訳件数を毎月、理事会へ報告する。

## 9)山筋ゴーゴー体操推進委員会

①山筋ゴーゴー体操の全会員に普及への取り組み地方連盟の要望に基づき講習会を開催し、指導員養成講座を地方連盟と協力して開催していく。労山制作のDVDについて宣伝していく。

②山筋ゴーゴー体操テキストの全面改正を推進していく取り組みテキストについては昨年度委員会で議論をして全面改訂することになった。現テキストは資料も古く内容も検討する必要があるこれからの登山に適したものにしていく。

③講習会・養成講座終了後に役員・担当者懇談会の実施講習会・養成講座実施の地方連盟の協力・ご理解を得て実施し情報交換をする。

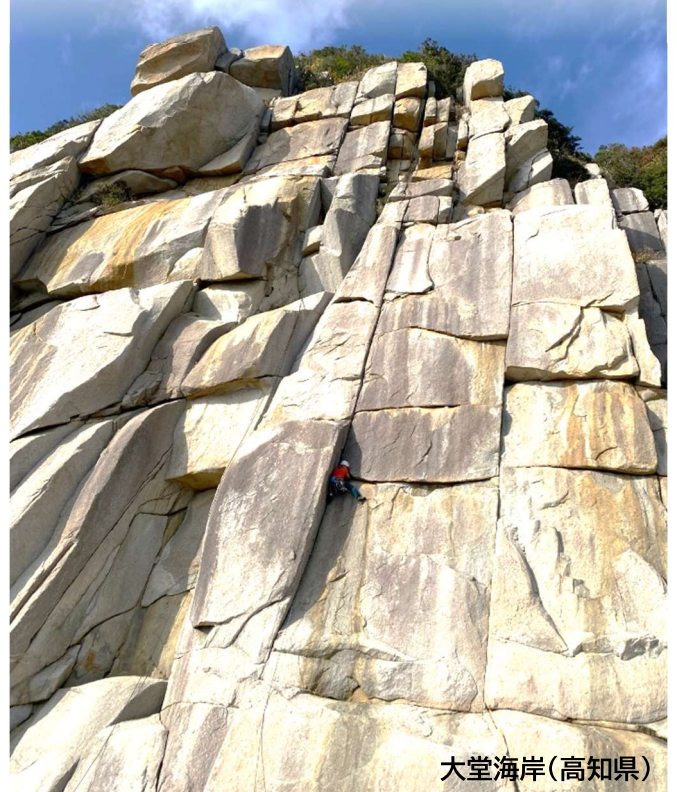
④山筋ゴーゴー体操Tシャツの普及をしていく。

## 10)自然災害等への支援活動について

「労山会員被災者支援委員会」の設置と災害支援規定、基金設立を引き続き検討する。

## 11)他団体との共同行動について

山岳四団体で共同運用する「登山届システム」(山岳安全対策ネットワーク協議会)の運営に積極的に参加する。新日本スポーツ連盟、共済の今日と未来を考える懇話会、全国山の日協議会の活動には継続して協力する。2024年国民平和と大行進に参加し、核兵器廃絶と核兵器禁止条約への日本国政府の署名・批准を求める。



大堂海岸(高知県)

## 11月1日から12月4日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	10.07	和歌山	49	女	大朝日岳	無雪期	転倒	夜行バスで山形駅へ。構内で転倒し救急車で搬送した。	打撲、切傷
2	10.22	岡山	72	女	小野アルプス	無雪期	転倒	山頂から下った坂道で足を滑らせ転倒した。	切創
3	10.22	千葉	61	女	雁ヶ腹摺山	無雪期	転倒	林道の平坦地で10cm程の木に躓き転倒した。	左肩骨折
4	10.22	東京	76	女	金時山	無雪期	転倒	下山中、山頂直下の階段で鉄杭に躓き転倒した。	右橈骨遠位端骨折
5	10.14	神奈川	41	女	権現谷	登攀	転落	最初の支点にクリップする前にフォールし、地面に着地した。	右アキレス腱断絶
6	10.29	埼玉	47	男	瑞牆山	登攀	転落	クライミング中、フォールした際左足を壁に強打した。	左足首くるぶしの骨折
7	10.31	東京	69	男	天祖山	無雪期	虫・動	昼食時にマダニに刺され、帰宅後入浴中に気付いた。	マダニ刺傷
8	11.03	埼玉	59	男	墓場尻川	沢登り	転倒	浮石に右脚をのせて転倒し右手小指を地面に付けた。	脱臼骨折
9	11.04	千葉	59	男	鳳凰三山	無雪期	転倒	下山中、転んで尖った大きな石の上に尻もちをついた。	尾骶骨骨折
10	10.22	京都	63	女	六甲山	無雪期	転倒	転倒により右手を突いた。	右肩脱臼骨折
11	10.31	徳島	82	男	砥石権現	無雪期	滑落	下山中、バランスを崩して木を掴んだが折れて滑落した。	肋骨多発骨折
12	11.03	石川	69	女	蟹ノ目山	無雪期	転倒	渡渉の際、足を置いた石の上でバランスを失い転倒した。	右手首骨折
13	11.03	東京	50	男	根本山	無雪期	体勢	下山中、左足首を内側に捻りスリップした。	左足関節外側靭帯損傷
14	11.11	東京	67	男	妙義山	登攀	滑落	下降中、掴んだ木が折れて4-5m程滑落した。	右足首骨折
15	11.12	沖縄	63	女	国頭方西街道	無雪期	転倒	登山開始から1時間後、石橋の中ほどで滑って転倒した。	手首骨折
16	10.28	群馬	66	男	水沢山	無雪期	転倒	下山中、足を滑らせ転倒した。	左肋骨骨折
17	10.17	埼玉	65	女	根子岳	無雪期	転倒	頂上のザレ場でバランスを崩し前のめりで転倒した。	左膝半月板損傷
18	11.12	東京	61	女	日の出山	無雪期	転倒	下山中、山頂直下の木の根に躓き転倒した。	上腕骨頭剥離骨折
19	10.20	愛知	73	男	アンナプルナ	海外登山	病気	下山後、ポカラの病院へ、帰国後再検査し肺炎と診断された。	肺炎
20	11.12	青森	70	女	烏帽子岳	積雪期	転倒	下山中、雪で滑って転倒した。	左手首骨折
21	11.07	東京	37	男	フォレソビ北壁	海外登山	病気	高度障害により行動不能。ヘリで搬送された。	高度障害、高山病
22	10.22	東京	30	男	甲府幕岩	登攀	転落	3本目のクリップ後、バランスを崩して落下し壁に左足を強打した。	右踵打撲
23	11.09	埼玉	65	男	御前ヶ遊窟	無雪期	転倒	岩のめめった斜面で横向きに転倒した。	左鎖骨骨折
24	11.12	岐阜	54	女	雨乞山	無雪期	体勢	下山中、落葉が積もった斜面で足を滑らせ転倒した。	左肩の関節骨折
25	11.19	埼玉	47	男	二子山西岳	登攀	転落	核心部でフォールし、下のテラスに踵をぶつけた。	右足踵の骨折
26	11.02	千葉	74	男	ゴラクシュブ	海外登山	病気	トレッキング中に体調不良。帰国後検査し肺炎と診断された。	肺炎
27	11.03	神奈川	69	男	大杉谷	無雪期	滑落	登山道の間違え、引き返す途中のトラバースで5m程滑落した。	額の切創、左足打撲
28	11.08	東京	51	女	筑波山	無雪期	体勢	山頂で他の登山者に押されて、不安定な着地で右膝を強く振った。	右膝外側半月板断絶
29	11.09	広島	60	女	烏帽子岩山	登攀	転落	セルフビレーを解除し、ロープのよじれを直して5m程転落した。	肩骨折
30	11.23	岡山	65	女	泉山	無雪期	転倒	下山中、後方に転倒しそうになり、左手を地面についた。	左手首骨折
31	11.03	新潟	54	女	未丈ヶ岳	無雪期	転倒	小さな木の根によろけて左腕を茂みに入れて負傷した。	左前腕挫傷
32	11.19	兵庫	73	女	雨乞岳	無雪期	転倒	残置ロープを掴んだら緩んだので、手を放し転倒。	左頭部、左肘打撲
33	11.26	石川	70	男	白枝山	無雪期	転倒	下山中、落葉に隠れていた根に右足を取られ転倒した。	右足首骨折

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	2	2	3	5	3	1	0	16
女性	0	0	2	3	8	4	0	0	17
合計	0	2	4	6	13	7	1	0	33

形態	無雪期	海外登山	沢登り	山スキー	冬季登攀	登攀	人工壁	訓練	合計
男性	8	0	1	0	0	4	0	3	16
女性	14	1	0	0	0	2	0	0	17
合計	22	1	1	0	0	6	0	3	33

原因	墜落	転落	滑落	転倒	虫・動植物	体勢	病気	その他	合計
男性	0	3	3	5	1	1	3	0	16
女性	0	2	0	13	2	0	0	0	17
合計	0	5	3	18	3	1	3	0	33

傷病	骨折	捻挫	打撲	裂傷	脱臼	刺咬傷	損傷	その他	合計
男性	8	0	0	2	1	1	1	3	16
女性	11	0	2	2	1	0	1	0	17
合計	19	0	2	4	2	1	2	3	33

## 労山基金 2023年11月交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	千葉県	60代女性 3口	2022/10/29 13時00分頃	富士山と周辺 杓子山 不動の湯付近	無雪期登山	転倒	下山時倒木の上で滑り足を捻って転んだ。	左足関節外果骨折
2	群馬県	60代女性 1口	2022/11/27 10時10分頃	西上州・妙義 妙義山 裏妙義山系の三方境と谷急山の 稜線から女道を下った辺り	無雪期登山	転・滑落	三方境と谷急山の稜線から女道を下山し始め、登山道で枯葉に隠れた段差に気づかず足を踏み込みバランスを崩してしまい30m程谷側に滑落して左側頭部・肩等を強打した。	頸部捻挫 右肩関節捻挫
3	栃木県	70代女性 5口	2022/11/20 13時20分頃	関東・甲信越その他 古賀志山 古賀志山北尾根分岐と中尾根2 番岩の間	登攀	転・滑落	岩講座実技中。事故者トップロープで支点まで到達後に自己ピレイを確保し、自己ピレイ解除後にロアダウンで下降開始直後に約4mほどフォールダウン。原因は検証委員会で調査中である。参加者の聴き取りから事故者のロープと安全カラビナはフィックスされた状態で落下したことが判明している。	骨盤骨折
4	神奈川県	70代女性 5口	2022/11/13 04時00分頃	海外 エベレスト街道	海外トレッキング・加カン	高度障害	カラバタールからの帰路、道迷いと高度障害のため動けなくなりロジック到着が朝4時になった。翌朝ヘリコプターでゴークョに移動。一日ゴークョで休んだが、血中酸素濃度が40前後と非常に低くなったため15日にレスキューヘリにてカトマンスへ下山。SWACON International Hospitalに入院。	高山病 高山病に由来する 両下腿静脈血栓症
5	岐阜県	70代女性 3口	2022/11/16 09時30分頃	中部地方その他 老梅山（ロウバイヤマ）	無雪期登山	転・滑落	上部の人の滑落に巻き込まれた。	剥離骨折・靭帯損傷
6	兵庫県	50代女性 5口	2022/12/03 13時30分頃	六甲・金剛・和泉山系 荒地山（アレチャマ）	無雪期登山	転倒	アイゼントレの後、班毎に荒地山をゴールとした読図ハイキングをしていた。ルートをミスしたため、登った登山道を下山していたところ、落ち葉で足を滑らせた。その際、左足が木の根に引っ掛かり、ひねり、膝を傷めた。	左膝靭帯損傷
7	東京都	70代男性 5口	2022/12/24 16時00分頃	人工壁	人工壁	転・滑落	110度の傾斜の人工壁をリード中、6ピンあたり高さ7メートルくらいから落ち、グラウンドした。最終カラビナにロープをかけていなかった。	椎体骨折 左坐骨骨折 両側踝骨骨折
8	東京都	50代男性 5口	2022/12/29 08時00分頃	谷川連峰・巻機山・武尊・荒沢 岳 武能岳（ブノウタケ）・茂倉岳 （シゲクラタケ） 駐車場から登山口に向かう道路	積雪期登山	転倒	駐車場から登山口に向かう道路の歩行中に凍結していた路面で滑り、バランスが崩れたところでやや斜めに着いた左足に総荷重が掛かり骨折した。	左脛骨骨幹部骨折
9	千葉県	70代男性 5口	2023/01/07 17時30分頃	西上州・妙義 妙義山（西岳・星六岳） 下山目的地（中野嶽神社）の西 方、約200m付近	登攀	転・滑落	目的地の星六岳からの空中懸垂を終了してバリエーションルートを下山中の斜面で堆積した落葉により足を滑らせ約10メートル程度滑落して右足脛を骨折。	右脛骨近位端開放骨折 右脛骨骨幹部骨折
10	広島県	60代女性 5口	2023/01/06 15時45分頃	中国・四国その他 烏帽子岩山 登山口（駐車場）より約150 mの緩やかな下山道	無雪期登山	転倒	アイゼン尾根を登り山頂から一般登山道を下山中、下山口まで約150mの緩い登山道で左足が前に滑って右足首をひねるように転倒し足首を骨折した。本人からボキッと音がしたこと、痛みで動けないとのことと救急車を要請。市内、「にいたにクリニック」にて手術、入院加療。2023/9/30治癒。	右足関節内骨折 足関節脱臼骨折
11	岡山県	60代女性 5口	2023/01/08 11時15分頃	中国・四国その他 遙照山（ヨウショウザン） 山頂、両面薬師の参道（登山道） を、少し下った場所	無雪期登山	病気	左足膝裏にベキッと音がしたように感じると同時に急に激しい痛みがあり、足に力が入らず歩行困難。同僚に背負ってもらいすぐ下の車道まで行き待機。迎えの車で下山した。急患受診足を固定、松葉杖で帰宅。後日MRI撮影結果、左足外半月板完全裂傷一歩手前で3週間絶対安静。炎症でたまっていた水を抜く。	左膝関節捻挫・左膝内 側半月板裂傷
12	愛知県	60代男性 5口	2023/05/04 11時40分頃	鈴鹿山系 竜ヶ岳 重ね岩と笹原稜線の間地点	無雪期登山	転倒	石樽峠を8時12分出发し10時頃山頂に登頂、1時間休憩して11時10分頃下山開始する。笹原稜線ピークを過ぎ傾斜ある岩混じりのザレ場で11時40分頃に滑って仰向けに転倒する。滑った時に左足に荷重が集中して左足裏面に強い衝撃あったとの事、本人から「多分骨折したので動けない」と言われ119番し13時45分へりにてピックアップ収容される。	左大腿骨骨幹部骨折
13	道央地区	70代男性 5口	2023/05/14 08時00分頃	北海道その他 小樽赤岩 奥リス前ガレ場	登攀	転倒	当時奥リス前のガレ場にいたが、上部の終了点にいたメンバーと話しながら数歩歩いた時に足元の岩が崩れ、左半身を下に向け転倒した。転倒の際には頭を打ち、脳震盪を起こしたのか暫く動けず吐き気と眩暈の症状があった。左手首や右手の疼痛も強く、三角巾で左腕を固定し自力で下山。	左尺骨茎状突起骨折 右第4中手骨骨折 左橈骨遠位端骨折

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
14	東京都	70代男性 5口	2023/06/29 14時30分頃	丹沢・道志 塔ノ岳 大倉尾根	無雪期登山	転倒	下山中、花立山荘を過ぎたあたりでヘリが低空飛行していた。気になりカメラで撮影していた。不注意で斜面に転落し、5mほど下の立木にぶつかり止まる。登山道に這い上がってヘリで救助される。	腰椎椎骨骨折
15	京都府	70代女性 3口	2023/07/06 12時00分頃	近畿地方その他 ボンボン山 京都	無雪期登山	虫・動植物	7月6日ボンボン山から帰ってから右臀部にマダニがついている為救急外来受診取ってもらうが翌日皮膚科受診念のため深く切開してもらった。1か月間様子を見て熱等あれば再受診勧められる。	マダニによる咬傷
16	石川県	60代女性 3口	2023/07/18 11時40分頃	白山系 蟹ノ目山（ガンノメヤマ） 山頂付近	無雪期登山	虫・動植物	11時40分頃、山頂で登山靴にマダニ1匹が付いていた。身体を確認すると右側脇下にマダニ1匹を発見する。常備薬のムヒアルファを塗布し抗生剤投与して下山。直ちに皮膚科受診、生検する。	右側背部マダニ症
17	石川県	70代女性 5口	2023/07/22 07時20分頃	日高山系 神威岳（カムイダケ） 標高500m付近の沢	無雪期登山	転・滑落	岩場で目の前の岩に登ろうとしてバランスを崩し、後方に倒れて腰を強打した。落ちたのは多分高さ1m未満だが、ちょうどザックがカバーしていない部位を打ったので衝撃が走った。	脊椎圧迫骨折
18	石川県	50代女性 3口	2023/07/22 09時38分頃	白山系 別山 千振尾根 標高1310m地点	無雪期登山	登山道整備中の鎌の扱い	石川県連盟主催の別山千振尾根登山道整備の作業中に、鎌で左母指を切傷した。9時50分下山開始。13時、金沢の石川県立中央病院で受信し処置、破傷風ワクチン接種を受けてきた。	左母指切傷
19	愛知県	50代女性 5口	2023/07/30 9時00分頃	北ア 槍・穂高周辺 北穂高岳 山頂テント場の下、トラバースの鎖がある辺り	無雪期登山	時にバランス	北穂高岳頂上、下山時にテント場の下、トラバースの鎖のある辺りで、他の登山者とすれ違った際にバランスを崩し、転倒はしなかったものの大岩で左膝を強打した。	左膝挫傷
20	青森県	50代女性 3口	2023/08/06 14時00分頃	岩木山・八甲田山系 南八甲田山 バツカイ沢	沢登り	転倒	下山の途中で沢の岩につまづき、転倒し膝を強打した。	打撲
21	道央地区	50代女性 10口	2023/08/13 15時00分頃	日高山系 ソエマツ岳 広尾郡大樹町	沢登り	転・滑落	段差のある細尾根を下降中、後ろ向きでクライムダウン中に握っていた木が折れてそのまま滑落した。危険箇所にも拘わらず三点支持での基本的な行動が出来ていなかった。又は、危険箇所の通過という認識に欠けていた。	頸椎骨折、腰椎骨折、肩甲骨骨折
22	徳島県	60代男性 3口	2023/08/19 14時00分頃	中国・四国その他 赤星山 四国中央市土居町野田大地川	沢登り	落石（落水）	沢登り中、岩に手を掛けたところ動きだし、右足ふくらはぎが落ちた岩と岩場に挟まれた。落ちた岩の大きさは人間ほど。直後、少し痛みはあったが自力歩行は可能だった。	蜂窩織炎
23	静岡県	40代男性 10口	2023/08/14 13時30分頃	朝日連峰 寒江山 岩井又川ガッコ沢	沢登り	落石（落水）	ガッコ沢ゴルジュを抜け、標高1250m付近三俣手前にある雪渓の左岸高巻き中、持った石が欠け、その石が左脛に当たった。	左脛裂傷
24	東京都	60代女性 1口	2023/08/25 15時00分	八ヶ岳連峰 天狗岳 本沢温泉への下山道	無雪期登山	転倒	天狗岳から本沢温泉に下山中、滑って転倒し地面に右手をついた。湿布をして山行は続けた。下山後数日間様子をみたが、痛みが続くため病院で診察を受けた。	橈骨遠位端骨折
25	長野県	70代男性 10口	2023/08/28 18時00分頃	北ア 槍・穂高周辺 上高地 徳沢キャンプ場	無雪期登山	虫・動植物	3泊4日で上高地より北穂～前穂への縦走を計画し、あかんだな駐車場から上高地に入り徳沢キャンプ場で休んでいる18時頃に左手が腫れている事に気付く。	左手甲に虫刺され
26	東京都	70代女性 5口	2023/09/17 09時30分頃	奥多摩・高尾・陣馬 臼杵山（ウスキヤマ） 元郷登山口より2時間経過した 754m地点	無雪期登山	虫・動植物	登り始めて2時間経過後休憩をする。その時ザックを置いたところ樫の木の根元からハチが飛び出し刺された。右手親指腹側第一関節より下のあたり。帰宅後熱と腫れがあり9/18救急外来に受診した。	虫刺され（蜂）
27	東京都	50代女性 5口	2023/09/24 12時00分頃	北ア 槍・穂高周辺 北穂高岳 大キレット長谷川ピーク	無雪期登山	転・滑落	槍ヶ岳登頂後、南岳から北穂高岳に向かって歩いていたらとみられる。先行パーティ3名が大きな物音に気が付いて警察に通報した。民間の山岳救助隊が稜線下200mで発見した。	多発外傷による死亡

※口数等：（団＝団体口数、（個＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

## ▲ 全国連盟、部・局・専門委員会の活動

### 2023年12月

01 ココヘリ高尾レセプション(東京都八王子市)、05 登山と山岳文化の教養講座(合評会)、06 遭難対策部会、09 全国雪崩講習会・講師会議、同日 日本ヒマラヤ協会・華甲忘年会(東京 主婦会館・プラザエフ)、12 三役会議、同日 新日本スポーツ連盟との定期協議(新スポ事務所)、同日 海外委員会、同日 自然保護委員会、16 組織部会、19 第2回役員選考委員会、21 第22回理事会、26 労山基金運営委員会、28 労山事務所仕事納め(24年1月4日仕事始め)

## ▲ 部・局・専門委員会の活動

### ■ 遭難対策部

#### 11月は登攀での事故が増加

12月4日までに届いた事故一報は、33件33名。転倒が18名。転・滑落が8名。病気(海外)と体勢が各3名。虫・動植物が1名。今月は、登攀による転落や滑落が6名あり登攀での事故が増加した。6件の内4件はフォールで、最初の支点を掛ける前や核心部でバランスを崩している。クライミング途中でのフォールが臍の断裂や骨折に繋がっている。30代が1名、40代が3名、60代が2名と年齢差はあるが、比較的若い年齢の30代、40代の事故者については、登攀能力の力量が不足していると考えている。自身の能力を超える登攀を行ったようだが、当事者はどの様に感じているか。60代の事故については、ルート下降中に掴んだ木が折れて4-5m程の滑落や、登攀終了後ロープ回収中ねじれを直している時に5m程滑落している。これは登攀以前の問題で、注意力や判断力が欠けている状況だと考えている。一般登山でも、82歳の男性が下山中にバランスを崩し掴んだ木が折れて滑落している事例があった。60代に入ればバランス感覚は衰えていく。登山と注意力の関りは、福岡県連が「Eペース登山」として福岡大学と共同でデータを集めている。注意力の測定から明らかに年代別の評価でも劣っている結果が出ている。登山にともなう注意力の変化については、出発前、山頂、帰着後では、下山中の注意力は低下している。下山時の脚力低下と注意力の関係は比例関係にあり、転倒と大きく関わっていると思っている。7月以降、海外登山が増加したが、今回は3件の事故が発生

した。何れも、肺炎と高度障害の病気であった。益々増える海外登山は、海外での肺炎を含めた感染症にしっかりと対応し体調の管理やグループ全体の行動にも注意が必要である。(遭難対策部長・石川昌)

### ■ 海外委員会

#### 多様化する海外山行の調査と交流に向けて

2024年度海外委員会の予算(案)を討議した。近年は開催されなかった海外登山集会を「海外山行交流集会」へと名称を変更し、2024年11月に労山事務所で開催する事とし、それに向けた予算が中心となっている。近年の海外登山は以前にも増して多様な「海外山行」が行われている。ここで名称を変更して交流集会を開催する主旨を明らかにする事が重要との立場から、様々な側面から意見交換を行なった。そしてこのテーマは今後常に話し合っていくテーマであるとの認識を共有した。一方、高峰登山調査用紙と海外山行調査用紙が提案された。高峰登山調査用紙は完成したものと、海外山行調査用紙については次回の委員会で検討し、完成したら、両調査用紙を活用して資料集とする。(海外委員・山中芳樹)

### ■ 労山基金運営委員会

#### 労山短期掛け捨てプランの改善へ

労山短期掛け捨てプランは、三井住友海上火災保険(株)が提供する保険商品で、一般向け登山学校や公開ハイクなどの行事開催時に、労山会員以外の者(ビジター)と山行をともにする際に備える、国内旅行傷害保険だ。現在、概算で160件(740名)の山行を登録している。2023年度は従来の保険料、保険金額、申込方法から変更があった。確かに掛金は、ハイキングタイプで一日100円から可能だったのが一律250円になり、登攀タイプでは1000円からの掛け金が一律2500円に値上げされた。事務手続きについても、前月までに予定山行(行事)を登録し、そのうえで山行前日までにビジター名簿を届け出る必要がある。会員からは昨年度と比べて非常に使いにくい、掛金が高くなったなどの声が寄せられている。基金運営委員会では、これらの声を大切にし、従来の掛金と同様の額、従来の一回だけの手続きで済むような保険はないものか調査している。全く昨年同様の制度に戻ることは難しいかもしれないが、会員サービス向上のために鋭意努力していることを報告する。(労山基金運営委員・今野義伸)